



日本共産党 品川区議会議員 区政報告 のだて 積史

事務所：品川区豊町6-2-1 TEL：03-3786-6674
区議控室：品川区広町2-1-36 TEL：03-5742-6818

区政報告について
ご意見、ご要望を
お寄せ下さい。

~~2026年~~



平和と生活守る政治に



▲9月：デフリンピックを受け区議会で手話講座を実施



▲9月：大雨を受け緊急要望を区長に提出



▲8月：被爆80年の今年、原水爆禁止世界大会・長崎に参加。核兵器の廃絶の世論を品川から広げましょう。



▲3月：羽田議連しながわと運動団体の共同宣伝

昨年、維新の会を取り込み高市政権が発足。既に台湾有事や核保有発言など軍事一辺倒の危険性が浮き彫りになっています。

品川区には非核平和都市宣言があります。

「いまだかつて、開発された兵器で使われなかつたものはない」

これは、歴史の恐るべき証明である一刻も早く、核兵器をなくさなければならぬ」と世界に訴えています。

軍事力強化で戦争の準備を進めのではなく、平和の準備を進めることこそ必要です。被爆80年、核兵器禁止条約に日本が参加する一步を踏み出すことが、再び被爆者を生み出さない唯一の道です。

物価高も止まらない中、軍拡増税まで言われています。新年が平和と生活を守る政治に向かうよう全力を尽くします。力を合わせましょう！

のだて積史プロフィール

1985年品川区生まれ、40歳。八潮北小、八潮中、都立雪谷高校、東洋大学工学部建築学科卒。建築設計事務所で6年間働く。2015年4月初当選。戸越5丁目住。家族は両親と兄。ジブリ映画、バドミントン、テニスが好き。



2025年重大ニュース



1 参院でも自公過半数割れ 公明党連立離脱 高市政権発足

7月の参院選で自民・公明が過半数割れに。石破首相が辞任し、高市自民党総裁が誕生。これを受け公明党が政権から離脱。維新の会を取り込み高市政権が発足。国民の願いである消費税減税には背を向け、企業団体献金禁止も維新と共に衆院議員の定数削減にすり替えています。政治の激動を作り出したのは経済無策、裏金自民ノ一などの国民の怒りとしんぶん赤旗・共産党の追及です。力を合わせて希望ある方向へ変えさせましょう！

2 日本共産党品川区議団46年ぶりに予算に賛成

予算議会で区長が自公政権・濱野区政が進めてきた自己責任社会からの転換や、社会保障は権利とし所得制限なく無償化などの施政方針を打ち出し、具体策としても中学校の制服代や修学旅行費や障害児通所施設利用料、高齢者・障害者世帯の家具転倒防止器具設置助成の無償化等が出されました。そのため共産党区議団は46年ぶりに予算に賛成。昨年から変化が始まっており、昨年度決算にも賛成しました。暗い国政の中、品川区政が希望になっています。

The report is a scanned document from the Inagi Ward Assembly. It features several columns of Japanese text and some small illustrations. The main title is "品川区政が変わった!" (Inagi Ward Politics have changed!). It discusses the budget proposal and its implementation.

▲予算に賛成したこと伝え
る区議団報告

3 米の価格高騰

米不足から値段が上がり、以前の2倍に。未だに値段は下がりません。国が米の生産を減らしてきたことが大元です。主食である米の値段を下げ、同時に米農家が続けられるように国が支援すべきです。

▼戸越銀座の
浸水の様子



4 今年も記録的猛暑 9月の大雨で被害多数

6~8月の日本の平均気温が1898年の統計開始以降で最も高くなりました。8月の国内最高気温を塗り替える41.8度を記録。5~9月に熱中症で救急搬送された人は、全国で10万人を超みました。9月には品川でも大雨による水害が区内全域で発生。私も約70件を訪問し区民の実態を区に届けました。温暖化を止めなければ住み続けられなくなってしまう気候危機への対策は待ったなしです。火力発電・原発でなく再生可能エネルギーに転換を。



▲約15cm、幅10mの隆起

5 リニア工事の上で隆起事故

10/28早朝に西品川一丁目で隆起事故が発覚。真下ではリニア新幹線のトンネル工事が行われており、住宅街に入る直前でした。2020年調布市での陥没事故に匹敵する事態が品川で発生したのです。区民の生活が脅かされます。原因究明し、区民に説明することが必要です。



▲のだて穏史
公式ラインに
ご登録下さい

6 東京で初めてデフリンピック開催

11月東京で初めて100周年のデフリンピックが行われました。区内会場で行われたハンマー投げでは金、銀、銅を日本選手が独占。手話の普及に区も取り組みを行ってきました。障害者理解の促進、手話の普及へ引き続き取り組みを促進していきます。



▲ハンマー投げの会場でデフ
リンピックの手話